



福祉だより ひらつか

令和7年(2025年) 164号

発行 社会福祉法人
平塚市社会福祉協議会

50th
★ ★ ★ 法人化



平塚市社協

検索

11月号

公式サイト

<https://www.hiratsukasyakyo.jp>

〒254-0047

平塚市追分1番43号(福祉会館内)

TEL: 0463(33)1377 FAX: 0463(33)6588

いつの時代も「たすけあい」の気持ちで 年末たすけあい募金 ～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

歳末たすけあい運動は赤い羽根募金と同じく共同募金運動の一環で、12月1日(月)から都道府県単位で全国一斉に行われます。新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるようにするほか、地域や福祉施設での交流を促進するためなどに役立てられます。

その時々の中での状況を反映しながら、歳末たすけあい運動*は寄付や募金に支えられ、一世紀を超えて続いてきました。皆様のご理解をお願いいたします。

*歳末たすけあい運動…この活動の全国的な名称。平塚市では「年末たすけあい募金」と呼ばれています。

年末たすけあい募金の歴史

始まり ～戦前

歳末たすけあい運動は、日露戦争後の明治39年(1906年)、貧しい家庭を励まそうという気運から起こったと言われ、一新聞社が紙面を通じて同情金の募集を呼びかけました。昭和初期の世界的不況時には全国各地で歳末同情週間が広がりましたが、戦争の激化とともに途絶えました。

戦後 ～現在

戦後、国により「国民たすけあい共同募金運動」として共同募金が始まりました。一方で、各地域では再び歳末同情品を募集する気運が起こり、生活や健康の相談、生活困窮者への慰問・激励などが行われるようになりました。こうした活動は、歳末たすけあい運動として全国に広がり、発展していきました。

昭和34年(1959年)には、歳末たすけあい運動が共同募金の一環となり、地域の支援を必要とする方のための募金運動が毎年実施されています。経済的に困窮している方、被災した方などへの見舞金のほか、「自分のまちを良くするしくみ」として地域福祉活動への支援にも使われています。

歴代共同募金ポスターの変遷



昭和23年
(1948年)

昭和45年
(1970年)

昭和55年
(1980年)

平成5年
(1993年)

平成16年
(2004年)

平成23年
(2011年)

令和7年
(2025年)

平塚市の年末たすけあい募金の主な使い道(令和6年度実績)

慰問金や助成金など 5,415,000円

- ・生計が困難な世帯への慰問金(年末)
- ・生計が困難な世帯で小学6年生と中学3年生の修学旅行等支度金の一部助成
- ・病気等で保護者が死去した世帯の18歳以下の子どもへの激励金

障がい者施設等への配分金など
1,470,906円

障がい者地域活動支援センター等での社会参加、交流促進のための活動費 など

団体活動等への配分金など 6,962,800円

- ・各地区社会福祉協議会への事業開催費
 - ーふれあい広場(三世代交流事業)
 - 地域の親子、高齢者、障がい者の交流など
- ・ふれあいサロン 高齢者、未就学児と保護者など地域住民を対象とした気軽に参加できる集いの場
- ・福祉団体等への補助金
 - ー福祉当事者団体、社会を明るくする運動実行委員会など

社会福祉関係功労者表彰の受賞者が決定！

長年にわたって、障がい者の自立を支援する活動をされている方や、地域の社会福祉に尽力されている方の功労に対して、その功績をたたえ、表彰を行っています。今年度は次の方々が受賞されます。

神奈川県知事表彰（社会福祉関係者等）

点訳書籍の製作、点訳校正、点字体験の講師など、社会仕活動として社会福祉の向上に貢献 及川 早苗

平塚市社会福祉協議会顕彰

【表彰】 民生委員・児童委員、保護司として10年以上在職、社会福祉推進団体に10年以上在職し、代表者として5年以上従事している方 等

北澤 喜代子、藤澤 茂、花塚 憲子、
井上 勝博、本荘 由子、三枝 勝利、
芝岡 良男、三谷 克美、福岡 光夫、
寺本 孝、堀田 とき子

【感謝】 社会福祉推進者として10年以上従事している方、社会福祉の進展に大きく協力した方

庄司 史弘、中村 克子、平野 和代、
石川 啓子、高橋 英夫、廣井 有子、
三川 紀子、松山 典子、小沢 貞夫

※敬称略・順不同

市内社会福祉法人の情報交換会を実施

10月6日、県社会福祉協議会の「地域ネットワーク強化事業」を受けて開催され、市内社会福祉法人の理事長を

中心に14法人16人の参加がありました。昨今はどの法人も人材確保が難しい中、「福祉施設における人材の確保と定着」をテーマに講演が行われ、法人の垣根を越えた情報共有と活発な議論がなされました。



▲情報交換会の様子

健康わんぱいんと

インフルエンザは風邪じゃない
高齢者、持病のある人は重症化することも！

インフルエンザは予防が大切！

手洗い、マスク、十分な休息と栄養摂取、人混みへの外出を控えることは言わずもがな。

ワクチン接種がまだの方は急ぎましょう！

室内は適度な湿度を保ちつつ、こまめに換気をしましょう



くらしサポート相談

生活・仕事・病気等の困りごとや不安を抱えている方、まずはくらしサポート相談へご相談ください。平塚市社会福祉協議会の専門スタッフが寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。ご家族などまわりの方からの相談も受け付けています。

相談日時：月～金曜 午前8時30分～午後5時
（祝日、年末年始を除く）

お問合せ：0463(21)8813

平塚市役所1階128番窓口

平塚後見センターよりそい

（平塚市成年後見利用支援センター）

成年後見は、障がいや認知症などで判断能力が不十分な方を「法的に守り・支える」制度です。一人暮らしなので悪質商法の被害にあわないか心配、成年後見制度を利用してどんなことができるのか知りたいなど、お気軽にご相談ください。

相談日時：月～金曜、ほか月1回土曜

（祝日、年末年始を除く）

午前9時～正午 午後1時～5時

お問合せ：0463(35)6175

平塚栗原ホーム3階（平塚市立野町31-20）

あたたかい善意をありがとうございました（令和7年7月21日～9月20日）※敬称略、順不同

寄付金は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。社会福祉基金や交通遺児への寄付のほか、目的を指定してのご寄付も可能です。今後とも皆様のご協力をお待ちしています。

【社会福祉基金へ 合計4件 325,000円】

- ・中央労働金庫平塚支店推進幹事会
- ・湘南平塚福祉芸能実行委員会

【交通遺児へ 合計2件 132,142円】

- ・平塚市交通安全協会港支部
- ・神奈川県自転車商協同組合

ご寄付に関するお問合せはこちら

平塚市社会福祉協議会 総務企画課 財務管理班

TEL:0463(33)1377 FAX:0463(33)6588 info@hiratsukasyakyo.net



▲基金ページ

「福祉だよりひらつか」は皆様からの賛助会費と赤い羽根共同募金により発行しています。